

NEWSLETTER

RIEMAM

2010年 6 月号

No.155

日本環境管理学会 会報

目次

< 1 頁 > 平成22年度日本環境管理学会大会報告 < 2 頁 > 平成21年度事業報告 / 財産目録 / 平成21年度
監査報告 < 3 頁 > 平成21年度収支決算書 / 平成22年度事業計画 < 4 頁 > 平成22年度収支予算書

平成22年度日本環境管理学会大会報告

ビルオーナー自ら取り組んだ 中小ビルの省エネ実態調査と対策を報告

大会記念講演

通常総会では久保猛志会長を再任

晴天に恵まれた5月21・22日、本学会の平成22年度大会を、東京都江戸川区の江戸川区総合区民ホール（タワーホール船堀）にて開催しましたので報告します。

■久保会長再任

大会は、研究発表会に先立ち、初日午前に通常総会を開催。昨年度の事業報告・収支決算報告・監査報告と、今年度の事業計画案・収支予算案について審議され、いずれも満場一致で承認された。続いて任期満了に伴う役員改選が行われ、久保猛志会長と古橋秀夫・村松學監事の留任が決まった。

再任の挨拶で久保会長は、「会員減も含め、残念ながら学会の状況はあまり活発とはいえません。研究活動の充実のためにも、いろんな分野で活動を活発化していく必要があると思いますので、引き続きご協力をお願いします」と呼びかけた。



久保猛志会長

■愛知ビルメン協会本山氏に「現場から」優秀発表賞

総会終了後、午後から第23回目となる研究発表会がスタート。A：エネルギー消費、B：研究委員会報告、C：まちづくり（以上、初日）、D：プロパティマネジメント、E：全国ビルメンテナンス協会助成研究報告、F：災害防止、G：海面上昇、H：熱環境評価（以上、2日目）の順で8つのセッションがもたれ、合わせて25題の研究発表が行われた。

Aセッションには、現場事例報告として愛知ビルメンテナンス協会の本山邦雄氏が「ビルに於ける身近な省エネルギー手法事例報告」を発表。審査員5名による厳正な審査の結果、本山氏に「ビルメンテナンスの現場から」優秀発表賞が贈られた。

■特別講演は「中小ビルの温暖化防止対策2010～2008年報告から2年、その後の中小ビルの動きとテナント意識～」

初日夕刻には特別セッションとして、東京ビルディング協会理



事の猪股徳臣氏（東山興業㈱代表取締役社長）と清宮仁氏（㈱昌平不動産総合研究所取締役）による記念講演「中小ビル経営者が取り組む地球温暖化対策」が行



猪股徳臣氏

清宮仁氏

われた。猪股氏は東京ビルディング協会でも中小ビル経営者研究会代表幹事として中小ビル特有の経営課題に取り組むビルオーナー。中小ビルのエネルギー使用実態を明らかにしようと、2007年に協会会員18社26ビルを対象に調査を実施。翌年その成果を「中小ビルの経営者ができる地球温暖化防止対策」（2008年報告）にまとめ、2009年度不動産学会業績賞も受賞するなど大きな反響を呼んだ。この調査はその後にも継続され、「続・中小ビルの経営者ができる地球温暖化防止対策2010年版」として今月発表された。

この講演は発表直前でありながら、本学会のため特別に行われたもので、猪股氏が中小ビル経営者研究会の活動紹介と2010年版の基礎となった2008年報告の概要（中小ビルにおける省エネ対策の課題や、1日のCO₂排出量が見える化するなどの対策）について、清宮氏が2010年報告について解説した。

2010年報告の調査では大阪と神奈川にも調査範囲を広げ、43社49ビルに拡大。両調査の比較の結果、チューニングや改修件数とエネルギー削減には明確な相関関係は見られないものの、1ビルあたりのエネルギー使用量は7.0%近く削減されており、前回テナントとの協働で進めた対策に成果があったこと、テナントの省エネ対策実施率が予想以上に高いことがわかった。結論として清宮氏は、テナントの協力なくして省エネは推進できないこと、省エネに無関心なビルはテナントニーズを満たさず競争力を失うことなどを指摘した。

平成21年度 事業報告

1. 平成21年度通常総会

日時 平成21年5月22日(金)10:00～
場所 江戸川区総合区民ホール会議室
議案 平成20年度事業報告・収支決算報告／同監査報告／平成21年度事業計画・収支予算／その他

2. 会合

(1) 理事会1回

日時 平成21年5月22日(金)9:15～
場所 江戸川区総合区民ホール会議室
議題 平成21年度総会議案について／学会会則等諸規程の変更について／その他

(2) 学会運営関係委員会

1) 運営委員会 1回

各委員会業務の把握／総会議案及び運営／平成21年度事業報告及び決算状況の把握／平成22年度予算編成及び予算執行状況の把握

2) 学術委員会 8回

第22回研究発表会の企画・運営／『環境の管理』発行(論文審査小委員会)／各研究小委員会の活動把握(2小委員会)／第23回研究発表会の検討・準備／学術委員会運営規程等の整備

3) 総務委員会 11回(事業委員会と合同)

ホームページの作成・把握／会員数・会費納入状況の把握／会員データの整備とサービス提供へのシステム検討／関係団体への事業協力体制整備と対応

4) 事業委員会 23回

(総務委員会との合同委員会11回を含む)印刷版ニューズレターの作成／Web版ニューズレター企画・発信／学会事業活性化のための具体的取り組みの検討／関係団体等からの依頼事項への対応

3. 研究発表会(学術委員会)

第22回研究発表会

日時 平成21年5月22日(金)23日(土)
場所 江戸川区総合区民ホール会議室
論文等 研究発表会28題
記念講演「環境配慮建築における付加価値のあり方と取組み」伊藤雅人氏(住友信託銀行不動産総合コンサルティング部)

4. 研究活動(学術委員会)

(1) 研究小委員会

1) 論文審査小委員会7回(通信委員会を含む)

2) 現場のための室内環境評価と測定研究小委員会9回

①「室内環境評価システム・簡易版」を作成・配布、②試用モニタービル(全国ビルメンテナンス協会推薦)のデータ整理、③東京ビルヂング協会例会で「簡易版」を説明、④ビルメンヒューマンフェア'09in京都で「簡易版」を説明、⑤建築物環境衛生管理全国大会で論文発表

3) 建築・設備の不完全性(べからず)事例研究小委員会6回

①出版企画の検討、②ビルメンヒューマンフェア'09in京都で事例を説明

(2) 受託研究活動(ビルメン戦略研究委員会・総務委員会・事業委員会)

委託元:(社)全国ビルメンテナンス協会
平成21年度課題

1) ビルメンテナンス・グランドデザインに関する研究(継続課題)

①前年より引き続き回収したアンケート調査の随時入力作業及び整理、②ビルメンヒューマンフェア'09in京都で

「ビルメンテナンス・グランドデザインの策定」を説明

2) 「ビルメンテナンスと建物長寿命化の関連性に関する研究」(個別課題)

3) 「ビルメンテナンスの契約実態の分析と契約のあり方に関する研究」(個別課題)

①組織的対応に関する打ち合わせ

5. 出版等事業(学術委員会・論文審査小委員会・事業委員会・ニューズレター小委員会)

(1) 会誌『環境の管理』第68号～69号

(2) 「NEWSLETTER」第151号～153号

(3) Web版ニューズレターの更新

(4) ホームページの更新

(5) 日本環境管理学会大会2009学術講演梗概集-第22回研究発表会-

(6) 『水道水質基準ガイドブック改訂4版』の協力

6. 他団体等への協力事業(総務委員会・事業委員会)

(1) ビルメンヒューマンフェア'09in京都分科会「思索の杜の道しるべ～日本環境管理学会からの提案」の開催

(2) 全国ビルメンテナンス協会

①ビルメンテナンス研究表彰規程検討委員会への委員派遣

②ビルメンテナンス研究助成規程検討委員会への委員派遣

(3) 建築物管理訓練センター事業への協力

(4) BM情報ランドへの参画・促進

(5) 協賛・後援:ビル管理教育センター「建築物環境衛生管理全国大会」／全国ビルメンテナンス協会「第3回ビルメンこども絵画コンクール」

(II) 財産目録 (平成22年3月31日)

1. 資産の部 (単位:円)

(1) 流動資産(現金・預金)			
・現金			44,647
・普通預金	三井住友銀行		698,647
	みずほ銀行		3,036,125
現金・預金合計			3,779,419
・その他流動資産			880,000
(2) 保証金			1,946,400
(3) 未収入金			1,500,000
資産合計			8,105,819

2. 負債の部

(1) 前受金			
・平成22年度会費	正会員(法人)	13社	780,000
	正会員(個人)	34名	340,000
	特別会員	3団体	150,000
	学生会員	2名	6,000
前受金合計			1,276,000
(2) 預り金			19,950
負債合計			1,295,950

3. 差引正味財産			
合計			6,809,869

平成21年度 監査報告

平成21年度の収支決算を、以上の通り報告致します。

平成22年5月12日

日本環境管理学会

会長

久保 猛志 (印)

事務局長

坂口 弘 (印)

上記の報告書類を監査の結果、いずれも適正かつ正確なることを認めます。

平成22年5月12日

監事

古橋 晋夫 (印)

同

村松 學 (印)

(1) 平成21年度 収支決算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

＜収入の部＞

3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	平成21年度決算額	平成21年度予算額	増▲減	摘要
入会金収入	4,000	72,000	▲68,000	
入会金収入	4,000	72,000	▲68,000	個人会員1名、学生会員2名入会
会費収入	2,452,000	3,015,000	▲563,000	
個人会員収入	722,000	805,000	▲83,000	個人正会員+学生会員
法人会員収入	1,730,000	2,210,000	▲480,000	法人正会員+特別会員
事業収入	642,988	680,000	▲37,012	
大会等収入	301,000	400,000	▲99,000	研究発表会、講演会等
その他事業収入	341,988	280,000	61,988	書籍販売等、訓練センター委託
受託事業収入	3,000,000	3,000,000	0	
委託研究費	1,500,000	1,500,000	0	全国ビルメンテナンス協会より
研究助成収入	1,500,000	1,500,000	0	同上
貸室料立替金収入	600,000	600,000	0	全国ビルメンテナンス政治連盟より
雑収入	6,107	50,000	▲43,893	
受取利息	1,107	0	1,107	
雑収入	5,000	50,000	▲45,000	
当期収入合計	6,705,095	7,417,000	▲711,905	
前期繰越金	5,896,904	5,896,904	0	
計	12,601,999	13,313,904	▲711,905	

＜支出の部＞

(単位:円)

勘定科目	平成21年度決算額	平成21年度予算額	増▲減	摘要
事業費	2,070,680	3,590,000	▲1,519,320	
研究費	601,847	1,300,000	▲698,153	研究小委員会、図書費等
印刷編集費	571,410	1,100,000	▲528,590	会誌、ニューズレター等制作費
通信運搬費	164,331	250,000	▲85,669	電話料、会誌送料等
原稿料	41,180	150,000	▲108,820	
講師謝金	33,333	100,000	▲66,667	
大会等開催費	549,463	550,000	▲537	総会、理事会、研究発表会開催費
器具備品費	109,116	110,000	▲884	コピーリース代等
渉外費	0	30,000	▲30,000	
管理費	3,721,450	3,827,000	▲105,550	
給料手当	328,800	350,000	▲21,200	
福利厚生費	3,955	10,000	▲6,045	
旅費交通費	100,320	90,000	10,320	職員交通費
会議費	19,440	35,000	▲15,560	運営委員会等開催費
水道光熱費	112,712	130,000	▲17,288	
消耗備品費	43,749	55,000	▲11,251	
公租公課	0	0	0	
顧問料	556,500	557,000	▲500	
借室料	2,530,644	2,550,000	▲19,356	貸室料立替金支出を含む
雑費	25,330	50,000	▲24,670	振込手数料等
当期支出合計	5,792,130	7,417,000	▲1,624,870	
当期収支差額	912,965	0	912,965	
次期繰越金	6,809,869	5,896,904	912,965	
計	12,601,999	13,313,904	▲711,905	

平成22年度 事業計画

1. 平成22年度通常総会

日時 平成22年5月21日(金)10:30～
場所 江戸川区総合区民ホール会議室

2. 会合

- (1) 理事会1回
- (2) 運営委員会2回
- (3) 学術委員会10回
- (4) 総務委員会10回
- (5) 事業委員会(ニューズレター小委員会)12回
- (6) 調査研究小委員会等随時

3. 研究発表会(学術委員会)

- (1) 第23回研究発表会
日時 平成22年5月21・22日
場所 江戸川区総合区民ホール会議室

4. 研究活動

- (1) 研究小委員会(学術委員会)
 - 1) 論文審査小委員会(通信委員会を含む)
 - 2) 現場のための室内環境評価と測定研究小委員会
「室内環境評価システム・簡易版」のデータ収集と検証
 - 3) 建築・設備の不完全性事例研究小委員会
書籍化に向けた検討

4) プロパティマネジメント研究委員会

- 5) その他(1～2研究小委員会)
- (2) 受託研究活動(ビルメン戦略研究委員会・総務委員会・事業委員会)
委託元:(社)全国ビルメンテナンス協会
委託研究課題「ビルメンテナンス・グランドデザインに関する研究」
平成21年度課題を継続し、以下の課題の研究を進める。
 - 1) 「ビルメンテナンス業に係る現状の認識と将来への展望や夢」の集計・分析と報告書の作成
 - 2) 「ビルメンテナンスと建物長寿命化の関連性に関する研究」(個別課題)

- 3) 「ビルメンテナンスの契約実態の分析と契約のあり方に関する研究」(個別課題)
- 4) 「情報ネットワークにおけるビルメンテナンス・データの活用に関する研究」(個別課題)
5. 講演会・見学会等(事業委員会、学術委員会)
- (1) 講演会・見学会1～2回開催予定
6. 出版事業(学術委員会、論文審査小委員会、事業委員会、ニューズレター小委員会)
- (1) 会誌『環境の管理』第70号～第73号
- (2) 日本環境管理学会大会2010 学術講演梗概集-第23回研究発表会-
- (3) 「NEWSLETTER」第154号～第156号(別途 Web 版ニューズレター6号)
7. 他団体等への協力事業(総務委員会、事業委員会)
- (1) 全国ビルメンテナンス協会への委員派遣
- ①研究助成選考委員会
- ②研究発表表彰選考委員会
- (2) 建築物管理訓練センターからの課題委託
- ①1級ビル設備科分散訓練レポートの採点及び評価
- (3) BM情報ランドへの参画・促進
- (4) 協賛・後援
- ①ビル管理教育センター「建築物環境衛生管理全国大会」
- ②全国ビルメンテナンス協会「第4回ビルメンこども絵画コンクール」

平成22年度 収支予算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

<収入の部>

(単位：円)

勘定科目	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増▲減	摘要
入会金収入	22,000	72,000	▲50,000	
入会金収入	22,000	72,000	▲50,000	個人会員6名、法人会員1社入会
会費収入	2,640,000	3,015,000	▲375,000	
個人会員収入	670,000	805,000	▲135,000	個人正会員+学生会員
法人会員収入	1,970,000	2,210,000	▲240,000	法人正会員+特別会員
事業収入	700,000	680,000	20,000	
大会等収入	400,000	400,000	0	研究発表会、講演会等
その他事業収入	300,000	280,000	20,000	書籍販売等、訓練センター委託
受託事業収入	3,000,000	3,000,000	0	
委託研究費	1,500,000	1,500,000	0	全国ビルメンテナンス協会より
研究助成収入	1,500,000	1,500,000	0	同上
貸室料立替金収入	600,000	600,000	0	全国ビルメンテナンス政治連盟より
雑収入	50,000	50,000	0	
受取利息	0	0	0	
雑収入	50,000	50,000	0	
当期収入合計	7,012,000	7,417,000	▲405,000	
前期繰越金	6,809,869	5,896,904	912,965	
計	13,821,869	13,313,904	507,965	

<支出の部>

(単位：円)

勘定科目	平成22年度予算額	平成21年度予算額	増▲減	摘要
事業費	3,025,000	3,590,000	▲565,000	
研究費	1,000,000	1,300,000	▲300,000	研究小委員会、図書費等
印刷編集費	1,105,000	1,100,000	5,000	会誌、ニューズレター等制作費
通信運搬費	180,000	250,000	▲70,000	電話料、会誌送料等
原稿料	50,000	150,000	▲100,000	
講師謝金	50,000	100,000	▲50,000	
大会等開催費	500,000	550,000	▲50,000	総会、理事会、研究発表会開催費
器具備品費	110,000	110,000	0	コピーリース代等
渉外費	30,000	30,000	0	
管理費	3,987,000	3,827,000	160,000	
給料手当	315,000	350,000	▲35,000	
福利厚生費	0	10,000	▲10,000	
旅費交通費	90,000	90,000	0	職員交通費
会議費	30,000	35,000	▲5,000	運営委員会等開催費
水道光熱費	120,000	130,000	▲10,000	
消耗備品費	45,000	55,000	▲10,000	
顧問料	557,000	557,000	0	
借室料	2,800,000	2,550,000	250,000	更新料・貸室料立替金支出を含む
雑費	30,000	50,000	▲20,000	振込手数料等
当期支出合計	7,012,000	7,417,000	▲405,000	
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越金	6,809,869	5,896,904	912,965	
計	13,821,869	13,313,904	507,965	

NEWSLETTER RIEMAM
2010年6月号 第155号

発行=日本環境管理学会 (Research
Institute of Environmental Management,
Administration and Maintenance of JAPAN)

東京都荒川区西日暮里5-23-8 KSビル3階
TEL:03-3802-7050 FAX:03-3802-7051
URL <http://www.riemam.org/>
E-mail info@riemam.org